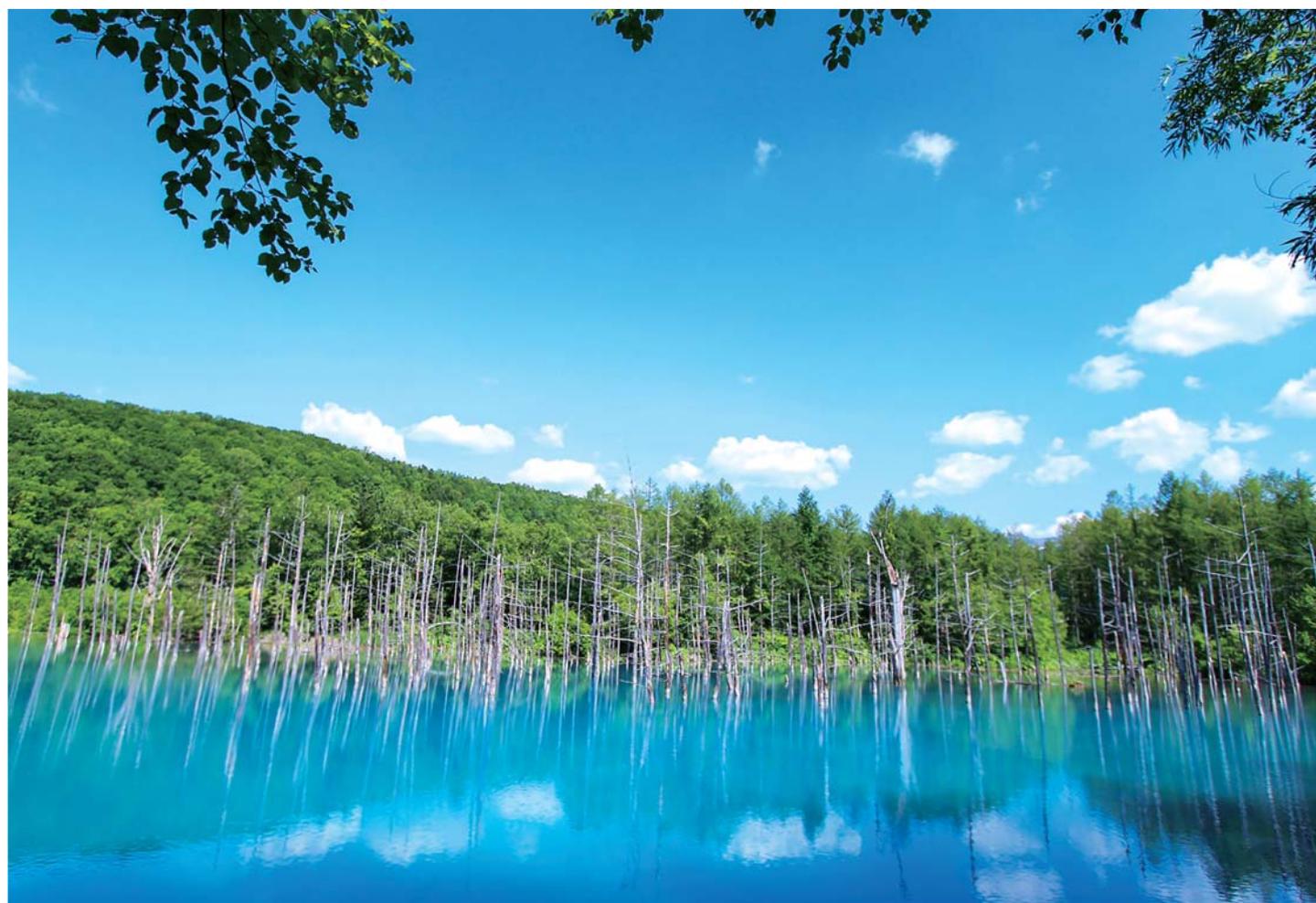


# 北海道がんセンター通信

2024

第66号

JULY



真夏の青い池

## CONTENTS

● 混迷の時代に向けて	院長	平賀 博明	……	2
● 副院長 就任挨拶	副院長	藤本 勝也	……	3
● 統括診療部長 就任挨拶	統括診療部長	丸山 覚	……	3
● ご挨拶	看護部長	窪田 明子	……	4
	事務部長	橋場 美紀	……	4
● 新任医師紹介				5～7
● 各センタートピックス 「がんゲノム医療センター」	がんゲノム医療センター長	横内 浩	……	8
● 各科トピックス 「骨軟部腫瘍科」	骨軟部腫瘍科医長	岩田 玲	……	9
● 新採用者・転任者交流会	教育研修部長	渡邊 健一	……	10
● 患者総合支援センター 地域医療連携室からのお知らせ	地域医療連携室 看護師長	佐々木亜万里	……	11
● がん検診のご案内				12

北海道がんセンターの理念  
私たちは、国民の健康のために、良質で信頼される医療の提供に努めます。

(基本方針)

- 1 都道府県がん診療連携拠点病院の使命を果たします。
- 2 常に医療の質と技術の向上を目指します。
- 3 医療安全を確保し、安心できる医療を提供します。
- 4 患者さんの権利を尊重し、誠実な医療を実践します。
- 5 研究、教育研修を推進し、医学・医療の発展に寄与します。
- 6 適切で快適な職場環境の構築に尽力し、職員にとっても魅力ある病院づくりを目指します。



## 混迷の時代に向けて

独立行政法人国立病院機構  
北海道がんセンター  
院長 平賀 博明

令和6年4月より院長を拝命した平賀 博明と申します。私は肉腫という希少がんを専門に26年間ほど当院で診療を続けて参りました。希少がんですので患者さんは多くありませんが、道内の多くの医療施設から患者さんをご紹介いただき、そして逆紹介させていただき、各地域の施設で診療を続けていただきました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。今後は、より広い領域のがんの患者さん、道内多数の医療施設、そして行政や患者会のみなさま達と協力して北海道のがん診療を支えていかなければなりません。

取り巻く環境はより厳しく、混迷の時代となります。地域の人口減少を背景とした地域医療構想が再スタートとなり、各病院の役割が見直されます。少子化、働き方改革により医師、看護師等のコメディカル、そして事務担当職員の獲得もより一層厳しくなるでしょう。診療報酬はわずかに増額されましたが、物価上昇を加味するとマイナスであるとの指摘もあり、人的リソースも経営的にも厳しい時代を手探りで進んでいくことになるかと覚悟しております。

北海道は平成20年度より「北海道がん対策推進計画」を策定し、がん対策に取り組んできました。平成24年には「北海道がん対策推進条例」が成立し、令和6年度からは第4期の「北海道がん対策推進計画」が開始となっています。当院は平成21年2月より都道府県がん診療連携拠点病院に指定されていますが、私達は他の地域がん診療連携拠点病院等とともに、この「北海道がん対策推進計画」に基づき、道内のがん医療の質の向上を推進し、がん診療を牽引する立場にあります。

さて、私達には牽引する力、資質があるでしょうか。答えは自己評価のみではいけないと思いますが、当院の診療科にはそれぞれにブランド力があり、最先端のがん診療に必要な機器や組織を整えております。今後のがん診療の中核の一つになるであろう、がんゲノム医療についてもがんゲノム医療センターをいち早く立ち上げ診療しております。また、拠点病院に特に必要とされる緩和ケアセンターと患者総合支援センターには優秀な人材がそろい、日頃より院内外で活動しております。この8月には病院機能評価受審を控え、再度、医療安全や診療の質について点検しているところであります。

私たちは、国民の健康のために、良質で信頼される医療の提供に努めることを理念としております。そのためには、患者にも職員にも、寄り添う医療を行う気持ちが大切であると考えております。当院で診療を受ける患者さんに、そして当院で働く職員にも、当院に来て良かったと言っていただけのような精進してまいります。今後も皆様方のご支援とご助力をお願い申し上げます。

## 副院長 就任挨拶

北海道がんセンター 副院長 藤本 勝也



この度、2024年4月より副院長を拝命しました藤本 勝也と申します。私は2017年4月に永らく勤務させていただいた北海道大学病院から、こちらの北海道がんセンターに血液内科医師として赴任いたしました。

血液がんは固形がんに比べると患者数は少ないですが、高齢化に伴い、特に悪性リンパ腫、多発性骨髄腫の患者数は増加しており、当院でもこのような造血器腫瘍に対する自家末梢血幹細胞移植を含めた化学療法に力を入れて取り組んで参りました。

2022年2月からは統括診療部長として病院運営にも携わせていただきながら、細胞療法などの治療の進歩が目覚ましい血液がん領域で、特に悪性リンパ腫、多発性骨髄腫の治験治療も積極的に進めております。

当院は2020年4月に新型コロナの院内クラスターを経験しましたが、職員一丸となってこの危機を乗り越え、2021年10月にグランドオープンとなった新病院で、クラスターから学んだことを活かし、十分な感染対策を行いながら、最新のがん診療を提供できるように職員一同努力を続けております。私も統括診療部長として、コロナ診療体制の整備や働き方改革に取り組んで参りましたが、今後は医療連携部長として地域医療連携、患者支援の更なる充実を、医療情報部長として医療DX化の推進に注力していく所存です。

北海道のがん診療の中核病院としての診療体制を維持し、多くの患者さんに最善の医療を提供し、そして職員が気持ち良く働ける職場作りを目指して、微力ながら尽力させていただきますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 統括診療部長 就任挨拶

統括診療部長 丸山 覚



2024年4月より統括診療部長に就任させていただきました。この場をお借りしまして就任のご挨拶をさせていただきます。

自分は北海道大学を卒業後、道内の医療機関（札幌市内6病院、札幌市外（道内）5病院）で研鑽し、北海道大学病院で10年間仕事をした後、2018年に当院に赴任しました。これまで泌尿器科医長、病棟診療部長といった役職をいただいてきましたが、このたび統括診療部長という全診療科の取りまとめ役を担う役職に就くこととなりました。

これは嘘偽りが無い本当の話ですが、当院では診療科同士で「いさかい」や「いざこざ」がほとんどなく、他科への依頼も気軽にできる風通しのよい病院です。そういう意味では自分の経歴の中では文句なく一番の病院と言えます。

そんな当院には自分より優秀、有能で尊敬すべき医師が多くいらっしゃることも承知しているところです。そのため若輩者の自分に統括診療部長という職は荷が重いのではと思うこともありました。ただ平賀院長の目指す、よりよい病院を実現すべくお手伝いさせていただくことは最終的には患者さんのためになるものと信じて、これまで以上に北海道がんセンターに貢献すべく尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

# ご挨拶

看護部長 窪田 明子



4月1日付けで着任いたしました窪田 明子です。

北海道がんセンターには、看護師長として2年間勤務させていただきました。この度、7年ぶりに当院に勤務することになり、緊張した毎日を過ごしながらも、過去と一緒に勤務した仲間たちの顔を見て、ホッとしております。同じ系列の複数の施設を経験してきましたが、どこの場でも看護の原則は変わりありません。それぞれが専門職業人として自信をもって看護にあたっている姿を目の当たりにし、看護の持つ力のすばらしさを都度痛感して

きました。

当院は、都道府県がん診療連携拠点病院として北海道のがん診療の中心的な役割を担っており、プロフェッショナル集団として、多くの職種とともにチーム医療を行っております。その中でも患者さんと一番接する機会が多い看護部では、「患者さんの目線に立った心のこもった看護の実践」を理念として、各人が学習し続ける強い志を持った集団であります。学習し続ける意思の根底には、患者さんが安全で安心して療養できる環境を提供したいという思いです。

がん看護の専門性を高め看護実践能力の向上のための研修を行い、組織横断的な活動をする認定看護師等の教育にも力をいれ、院内の看護ケアの質の向上につなげていきたいと考えております。患者さんやご家族、また、働く側からも選ばれる病院を目指し、今後がん看護の専門性を高め、看護の質の向上のために尽力していきたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

# ご挨拶

事務部長 橋場 美紀



本年4月1日付で事務部長を拝命しました橋場と申します。

北海道がんセンターには、「国立札幌病院」のときに医事の係長で4年間勤務して以来ですので、ずいぶん久しぶりの勤務となります。当時はエアコンも完備されておらず、まだ電子カルテも導入していなかったのも、気温の高い日は外来ホールに氷柱を置いて、患者さんに少しでも涼しさを感じていただくような工夫をしていたり、地下のカルテ庫から各科外来にカルテが自動搬送されるシステムがあり、外来の天井に設置されたレールをカルテ搬送

するボックスが走っていました。

令和3年10月に全面建替工事が完了し、すっかり新しくなった現在の建物ではとても想像もできないような当時のことを、とても懐かしく思い出しています。

当院は地域のがん診療の中心となる施設として、専門的な知識や技術を持ったスタッフが連携・協働しながら集学的医療を実践しています。医療を取り巻く環境は年々厳しくなっていますが、地域の先生方と連携しながら、患者さんに信頼され、職員がやりがいを感じながら働ける病院であり続けなければなりません。職責の重さに身の引き締まる思いですが、精一杯務めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



# 新任医師 紹介



- ①氏名 ②ふりがな ③職名
- ④専門分野 ⑤所属学会
- ⑥自己紹介

## 婦人科

### ① 植原 貴史

- ② うへはら たかし
- ③ 婦人科 医師
- ④ 婦人科悪性腫瘍
- ⑤ 日本産科婦人科学会、日本臨床腫瘍学会、日本婦人科腫瘍学会、日本臨床細胞学会、日本産科婦人科内視鏡学会、日本エンドメトリオーシス学会



⑥ 初めまして、婦人科の植原 貴史と申します。産婦人科専門医を取得後は婦人科悪性腫瘍の診療・研究を専門としております。大学病院やがん専門施設で勤務しておりましたが、ご縁があり北海道がんセンターで勤務させていただくこととなりました。よろしくお願いいたします。

## 呼吸器内科

### ① 吉田 有貴子

- ② よしだ ゆきこ
- ③ 呼吸器内科 医師
- ④ 呼吸器内科
- ⑤ 内科学会、肺がん学会、呼吸器学会、呼吸器内視鏡学会



⑥ 2024年4月より呼吸器内科に赴任いたしました。市立札幌病院で初期研修、帯広厚生病院、北海道大学病院で後期研修を行って参りました。患者さん、一人一人に寄り添った治療を心掛け、日々診療に当たっていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

## 消化器内科

### ① 池田 裕貴

- ② いけだ ゆうき
- ③ 消化器内科 医師
- ④ 胆膵領域
- ⑤ 日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本胆道学会、日本膵臓学会



⑥ 4月より着任しました池田と申します。大学病院在籍時に胆膵領域を専門とし、その経験を生かして複数の病院で同領域を中心に研鑽を積んでまいりました。どうぞよろしくお願いいたします。

## 消化器外科

### ① 原田 拓弥

- ② はらだ たくや
- ③ 消化器外科 医師
- ④ 消化器外科
- ⑤ 日本外科学会、日本消化器外科学会、日本肝胆膵外科学会、日本内視鏡外科学会、日本臨床外科学会
- ⑥ はじめまして。消化器外科の原田



と申します。出身は広島で愛媛大学を卒業後、愛媛で初期研修、その後東京を経て北海道大学消化器外科Iに所属しています。肝胆膵や移植外科を志して日々修練を積んでいます。がんセンターは進行がんや消化器がん以外のバックグラウンドを抱えた患者さんが多いですが、他診療科とも協力して手術をさせていただいております。患者さんのお力になれるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

## 乳腺科

### ① 小金澤 千夏

- ② こがねざわ ちなつ
- ③ 乳腺科 医師
- ④ 乳腺科
- ⑤ 日本外科学会、北海道外科学会、日本乳がん学会



⑥ はじめまして、北海道大学病院乳腺外科から赴任いたしました小金澤 千夏と申します。北海道の乳腺診療の重要な役割を果たす北海道がんセンターで働くことができ、とても光栄に存じます。日々変わりゆく乳がん診療の情報を常にアップデートし、適切な医療を提供できるよう精進してまいります。ご迷惑おかけすることもあるかと思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 緩和ケア内科

### ① 山本 兼二

- ② やまもと けんじ
- ③ 緩和ケア内科 医師
- ④ 緩和医療、ペインクリニック
- ⑤ 日本緩和医療学会、日本麻酔科学会、日本ペインクリニック学会、日本救急医学会、日本集中医学会、日本東洋医学会



⑥ 前任地の長野県で緩和ケアの研修を受け、3年ぶりに北海道に戻ってまいりました。主に緩和ケア病棟での勤務となりますが、患者さん一人ひとりと真摯に向き合い、心身ともに苦痛を和らげることができるような医療の提供に努めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 頭頸部外科

### ① 林 和広

- ② はやし かずひろ
- ③ 頭頸部外科 医師
- ④ 耳鼻咽喉科・頭頸部外科全般
- ⑤ 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会(専門医、補聴器相談医)



⑥ 令和6年4月より、北海道がんセンター・頭頸部外科に着任いたしました林 和広です。耳鼻咽喉科・頭頸部外科専門医として、常に患者さんの目線に立ち、丁寧な診察やわかりやすい説明を心がけるとともに、医師や看護師・パラメディカルの方々と協力し、より良い医療を目指して参りたいと考えております。まだまだ未熟者ではございますが、日々精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 放射線診断科

### ① 若林 直人

- ② わかばやし なおと
- ③ 放射線診断科 医師
- ④ 放射線診断学、核医学診断・治療
- ⑤ 日本医学放射線学会、日本核医学学会



⑥ 今年度より北海道がんセンター放射線診断科に着任しました若林 直人です。出身は千葉県ですが、北海道の自然の美しさや食・産業・文化の素晴らしさに日々感動しています。釣りや登山、写真が好きな自分は四季を通じて北海道を楽しませていただいています。これからも北海道の医療に貢献し、皆様のお役に立てるよう日々努力を惜しまず丁寧な仕事を心がけて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 放射線診断科

### ① 野口 聡

- ② のぐち さとし
- ③ 放射線診断科 レジデント
- ④ 放射線診断
- ⑤ 日本医学放射線学会



⑥ はじめまして。この4月から北海道がんセンター放射線診断科にまいりました野口 聡と申します。まだまだ至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、皆様のお役に立てるよう日々研鑽を積んでまいります。これから何卒よろしくお願いいたします。

## 病理診断科

### ① 高橋 利明

- ② たかはし としあき
- ③ 病理診断科 医師
- ④ 外科病理学一般
- ⑤ 日本病理学会
- ⑥ 4月より赴任いたしました高橋 利明と申します。昨年より北海道大学病院にて病理専門研修を開始



しました。病理診断科の主な業務は、臨床科の先生より提出いただいた組織(生検検体や手術検体など)を顕微鏡で観察し、病気の名前(診断名)をつけたり、進み具合を適切に評価することです。診断を確定させることは患者様にとってより良い治療に繋がります、そのことを肝に銘じて日々精進して参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。

## 口腔腫瘍外科

### ① 中野 晋太郎

- ② なかの しんたろう
- ③ 口腔腫瘍外科 レジデント



- ④ 口腔腫瘍全般
- ⑤ 口腔外科学会、口腔腫瘍学会、摂食嚥下リハビリテーション学会、口腔顎顔面外相学会、日本口腔インプラント学会

⑥ はじめまして。本年度より北海道がんセンターに赴任いたしました中野 晋太郎と申します。少しでも医療に貢献できるように頑張りますので、何卒よろしくをお願いいたします。

## 歯科口腔外科

### ① 鎌口 真由美

- ② がまぐち まゆみ
- ③ 歯科口腔外科 レジデント



- ④ 歯科口腔外科 口腔診断内科

- ⑤ 日本口腔外科学会、日本口腔内科学会、日本口腔科学会

⑥ この度、歯科口腔外科のレジデントとして、勤務させていただきます鎌口です。出身は北海道大学口腔診断内科で、前勤務先は、ドイツのリューベック大学で研究職についておりました。日本に帰国してまた臨床をするにあたり、北海道がんセンターで働ける機会に感謝しております。歯科医師として、患者さんの治療をサポートできるように、頑張りたいと思います。

## 循環器内科

### ① 後藤 全英

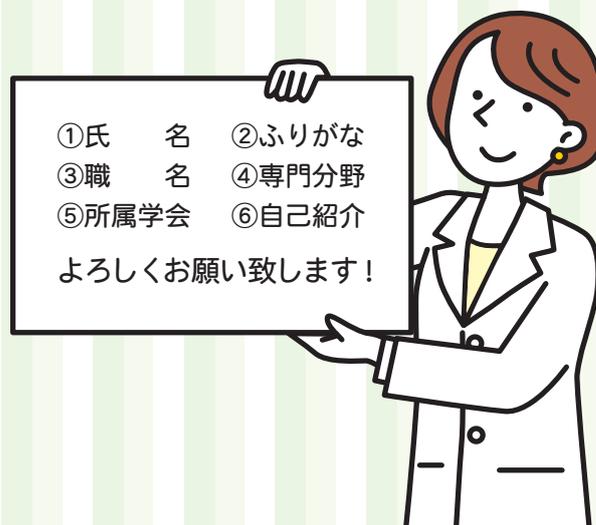
- ② ごとう まさひで
- ③ 循環器内科 医師



- ④ 心不全

- ⑤ 日本内科学会、日本循環器学会

⑥ 2024年4月より着任いたしました、循環器内科の後藤と申します。高血圧・脂質異常症・糖尿病といった、心血管病につながる病気の管理のほか、がん患者さんに起こりやすい血栓症、抗がん剤が原因となる心機能低下に対して治療を行い、患者さんや他科医師のサポートを行ってまいります。循環器らしくない症状でもお気軽にご相談ください。



## 呼吸器外科

### ① 中村 泰幸

- ② なかむら やすゆき
- ③ 呼吸器外科 医師



- ④ 呼吸器外科

- ⑤ 日本外科学会、日本呼吸器外科学会、日本肺癌学会、日本胸部外科学会

⑥ 令和6年4月より北海道がんセンターに赴任いたしました中村と申します。札幌生まれ札幌育ちで、生まれ育った北海道の地で医療に貢献できることを大変喜ばしく思っております。患者さんが笑顔で退院できるよう日々の診療に注力して参りますので、いつでもどんなことでもご相談ください。

## 呼吸器外科

### ① 新井 航

- ② あらい わたる
- ③ 呼吸器外科 医師

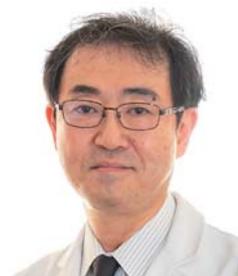


- ④ 呼吸器外科

- ⑤ 日本外科学会、臨床外科学会、日本呼吸器外科学会、日本胸部外科学会、気胸嚢胞学会

⑥ 令和6年4月より北海道がんセンターに赴任いたしました新井 航です。すべての患者さんを笑顔で退院させることを目標に手術を行っています。よろしくお願いいたします。

## がんゲノム医療センター



がんゲノム医療センター長  
横内 浩

ゲノム医療推進法が2023年6月に参院を通過して成立しました。本法では国がゲノム医療に関する基本計画を定めて国民が良質かつ適切なゲノム医療を受けられるための施策や研究開発等を推進する基盤を整備するとされて

ております。がんゲノム医療に携わる医療従事者も日々更新するゲノム医療を真摯に学び続け、適切な医療を倫理面にも配慮して提供していく責務を持つこととなりました。

このがんゲノム医療とは、数百の遺伝子を搭載したパネル検査によって判明する患者さん個人の遺伝子変化の情報に基づき、どのような抗がん剤（分子標的治療）がよいか、免疫治療は効きやすいかなど個別に治療を決めていく医療です。パネル検査は保険診療下で行われ、10割負担額で56万円（3割負担で約17万円）と高額ですが、高額療養費制度を用いて負担を軽減することが可能です。

当院では本格稼働した2020年4月から2024年4月までの4年間にこれまで260人を超える患者さんにごがんゲノム医療を提供して参りました。その結果、これまでの検査では治療に結び付けられなかった患者さんのうち、この検査によって約10%で治療をご案内できました。10%とは非常に少ない確率と思われるかもしれませんが、がんゲノム医療を保険診療で受ける対象者は、一部の治療が未確立の腫瘍を除き、標準治療終了もしくは終了見込みの固形腫瘍患者さんですので、考慮に入れてよい医療ではないかと思っております。

当院はがんゲノム医療連携病院、そして道内唯一の都道府県がん診療連携拠点病院に指定されており、各臓器がんの専門医、がん薬物療法専門医、遺伝性腫瘍を専門とする医師、遺伝カ

ウンセラーなど様々な医療従事者が集まる体制が整っております。がんゲノム医療中核拠点病院である北大病院とのエキスパートパネルという専門会議を通して、道内のがん患者さんにゲノム医療を広くお届けしております。

このがんゲノム医療では、患者さんに発生したがんが遺伝性のも（遺伝性腫瘍）であることが偶然発見される場合もあります。ゲノム医療を受ける前にこの情報を知りたいかどうかを主治医あるいは遺伝カウンセラーより事前にお伺いいたします。知りたい希望をお持ちであり、遺伝性腫瘍の可能性が高い結果が返却された際には、遺伝カウンセラーや臨床遺伝専門医に、様々な心配ごとを相談する体制がございます。また初めて本検査を受ける際には、がん相談支援センターの担当者から検査内容や費用をわかりやすく説明いただけます。

ゲノム医療を希望される当院の患者さんは担当主治医と、院外の方はその病院の主治医とご相談いただき本医療の対象であること、意義があることをご確認ください。院外の方は主治医を通して当院の地域医療連携室にご連絡いただければと思います。他院の先生におかれましては、ご不明な点がございましたら毎日ゲノム担当の各診療科医師が地域医療連携室を通してご相談に回答できる体制を整えております。詳細は当院ホームページ：<https://hokkaido-cc.hosp.go.jp/about/genome.html> をご参照ください。

道内のゲノム医療関連病院の先生方と一緒に、このがんゲノム医療を通して道民みなさまのがん医療をさらに充実させて参ります。是非ご検討いただき、当院をご用命ください。どうぞよろしくお願い申し上げます。





## 軟部腫瘍科

# 「骨軟部腫瘍科のご紹介」



骨軟部腫瘍科医長  
岩田 玲

骨軟部腫瘍科では、神経、血管、線維組織などの軟部組織や骨に発生する腫瘍を治療しています。これらの組織から発生する悪性腫瘍は肉腫といわれ、全悪性腫瘍の1%未満です。由来の異なる腫

瘍の総称ですが、多くは進行が早く、治療ができる病院に速やかに紹介して頂く必要があります。その希少性ゆえに治療ができる施設が集約化していますが、当院は道内で唯一の骨軟部腫瘍専門施設です。

当院は悪性骨腫瘍の代表的な疾患である骨肉腫に関して平賀院長を代表とした旗艦病院です。骨肉腫は根治的手術を実施しても長期予後が得られない疾患でしたが、化学療法の併用で予後が改善します。治癒を目指す化学療法は体の負担が大きいです。看護師、薬剤師、理学・作業療法士など多職種が協力して治療しています。Ewing肉腫は軟部にも発生する小型で円形の細胞からなる悪性腫瘍ですが、放射線感受性が高く、切除不能の場合には局所根治的放射線治療を実施して化学療法を遂行します。しかしその他の悪性骨腫瘍への化学療法は未確立です。悪性軟部腫瘍については、根治的切除を実施しても長期予後を得ることが難しい大きな深部発生の腫瘍に対して、周術期補助化学療法を実施することが標準的治療になりました。根治的切除が不能の場合や遠隔転移を有する軟部悪性腫瘍に対して2015年以後3剤の新規薬剤が適応できるようになり、化学療法を適応する機会が増えてきています。

化学療法の適応が広がっていますが、根治を目指すためには切除が可能な病変には手術を、切除が難しい場合には粒子線治療を含めた放射線治療を適応します。手術は腫瘍細胞を取り残さないように計画を立てた患肢温存手術が大部分です。切除で欠損する組織への補填には腫瘍用人工関節や人工血管などの人工物や、放射線処理をして体内に戻す場合もあります。広範な皮膚欠損には形成外科で遊離筋皮弁術を実施して頂いています。再建が難しい組織が隣接している場合には放射線治療を併用して隣接組織を温存する手術も適応します。体幹中心部の骨軟部悪性腫瘍は周囲に重要臓器がありますので、浸潤が想定される場合には周囲臓器の担当科で腫瘍を切り離して切除しています。

当科は原発の骨軟部腫瘍のみではなく骨転移診療も行っています。骨は肺と肝臓に次いで3番目に転移が多い臓器ですが、骨折などの有症状を呈すると当科で診療します。原発臓器を特定し、骨折部の安定化や転移部位の切除と再建を行い、化学療法を継続できるようにサポートします。

最後に、希少がんゆえに診断が難しく多くの時間を要する場合があります。体幹深部の腫瘍に対するCTガイド下生検を必要とする場合、組織の由来が不明で良悪性も定められない場合、そして遺伝子解析をしてようやく診断される場合もあります。骨軟部悪性腫瘍の診療は上記に記載した診断や治療を実施する各診療部門の協力を得て成り立っています。皆様何卒宜しくお願ひします。

# 新採用者 転任者 交流会

4月は新しい出会いがあり、縁というものを感じる季節でもあります。当院でも今回医師19名、看護師37名を含む多くの職種の計86名を新しい仲間として迎えました。4月5日夕方勤務終了後、院内の大講堂にて新採用者・転任者を迎えての交流会を開催いたしました。2019年までは病院外の会場で盛大に歓迎会を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症のためその後しばらく自粛していましたが、今回はお酒も無く慎ましい形ですが、実に5年ぶりのイベントということになります。

1時間程度の短い時間ではありましたが、新しく入職された方の自己紹介を聞き、少しマスクを外しながら楽しく歓談することができました。病院には多くの診療科・部門があり、多職種の連携が患者さんの良い診療のためには大変重要となります。近年は顔と名前がなかなか一致しないまま仕事を行っていましたが、この交流会が良いアイスブレイクとなりました。今後への明るい希望を感じることができた、有意義な会であったと思います。

(文責：教育研修部長 渡邊 健一 (乳腺科))



# 患者総合支援センター

## 地域医療連携室からのお知らせ

当院は、都道府県がん診療連携拠点病院として、専門的な設備や医療者を備え診断や手術、放射線治療、化学療法といった専門性の高い診療を提供しています。患者総合支援センター地域医療連携室では、前方連携とし病医院から紹介された初診患者さんが受診する際の予約業務作業を行っております。

医療を必要とする方がスムーズかつ適切な医療サービスをお受けいただけるよう、地域と当院を繋ぐ架け橋となり、円滑な前方連携を図ることを役割とし担当スタッフ一同取り組んでおります。

外来受診の予約の際は診療情報提供書（貴院様式）、外来受診予約問診票をご作成、地域医療連携室直通 FAX 011-811-9110 へ送信してください。ホームページの地域医療連携室ご案内より様式のダウンロードができますのでご活用ください。患者さんの円滑な受診を図るため画像資料（CD-R）は地域医療連携室宛に事前郵送をお願いしております。遅くとも予約日の3日前（土日祝日を除く）まで必着で郵送してください。画像資料到着を考慮したうえでの予約となります。

予約日時が決定次第、予約受診票をFAX送信いたします。30分以内の予約票送信を心がけておりますが、内容の確認に時間がかかる場合もありますのでお待たせするような場合は地域医療連携室からご連絡をさせていただきます。

画像資料（CD-R）がない場合、診療情報提供書原本やその他資料（プレパラート・レントゲンフィルム等）は、当日持参してもらうように説明し患者さんへお渡しください。

早期受診に努めておりますが、急を要する場合はDr to Drをお願いしております。FAXは24時間対応しておりますが、電話対応は9:00～16:30となっておりますので翌日対応となる場合もございますのでご了承ください。日頃より柔軟に予約対応していきたいと思っております。何かあれば気軽にご相談ください。皆様からのご紹介をお待ちしております。

**【外来予約申込書】**

北海道がんセンター  
〒050-0804  
札幌市中央区南一条西五丁目7番7号

FAX: 011-811-9110  
TEL: 011-811-9110  
受付時間: 9:00-16:30

**【注意事項】**  
 ① 医師以外受診予約申し込みされる場合は必ず医師ですが、**医師受診**もご希望の上お申し込みください。  
 ② 本室に必要事項をご記入ください。  
 ③ 本室に診療情報提供書（貴院様式）を上記FAX番号へ送付してください。  
 ④ ②③は同一紙に記入し、医師より予約票がFAXにて送付されます。予約票を患者さんにお渡しする際、その旨を患者さんへお伝えください。  
 ※1日・3日以上の予約申し込みは翌日受付となります。

ご紹介の医療機関	診療科	医師名	TEL	FAX
氏名	性別	年齢	〒	市
住所	〒	市	区	町
連絡先	〒	市	区	町
予約希望日	時間	予約希望時間	予約希望回数	予約希望期間
予約希望理由	予約希望理由			
予約希望日	時間	予約希望時間	予約希望回数	予約希望期間
予約希望理由	予約希望理由			
予約希望日	時間	予約希望時間	予約希望回数	予約希望期間
予約希望理由	予約希望理由			

ご紹介の医師  
 氏名: \_\_\_\_\_ 性別: \_\_\_\_\_ 年齢: \_\_\_\_\_  
 診療科: \_\_\_\_\_ 医師名: \_\_\_\_\_  
 〒 \_\_\_\_\_ 市 \_\_\_\_\_ 区 \_\_\_\_\_ 町 \_\_\_\_\_  
 TEL: \_\_\_\_\_ FAX: \_\_\_\_\_  
 予約希望日: \_\_\_\_\_ 時間: \_\_\_\_\_  
 予約希望時間: \_\_\_\_\_ 予約希望回数: \_\_\_\_\_  
 予約希望期間: \_\_\_\_\_

ご紹介の医療機関  
 名称: \_\_\_\_\_ 所在地: \_\_\_\_\_  
 〒 \_\_\_\_\_ 市 \_\_\_\_\_ 区 \_\_\_\_\_ 町 \_\_\_\_\_  
 TEL: \_\_\_\_\_ FAX: \_\_\_\_\_  
 予約希望日: \_\_\_\_\_ 時間: \_\_\_\_\_  
 予約希望時間: \_\_\_\_\_ 予約希望回数: \_\_\_\_\_  
 予約希望期間: \_\_\_\_\_



（文責：地域医療連携室 看護師長 佐々木亜万里）

# 北海道がんセンター がん検診のご案内

完全  
予約制

## ● 4大がん検診

- ・腹部エコーにより肝臓を中心に観察
- ・胃内視鏡（胃カメラ）による上部消化管検診
- ・便潜血反応による大腸がんスクリーニング
- ・低線量CTによる肺がん検診  
毎週水曜日 ①14:00 ②14:20 ③14:40  
毎週木曜日 ①14:00 ②14:20 ③14:40

## ● 腹部3大がん検診

- ・腹部エコーにより肝臓を中心に観察
- ・胃内視鏡（胃カメラ）による上部消化管検診
- ・便潜血反応による大腸がんスクリーニング  
毎週水曜日 ①14:00 ②14:20 ③14:40  
毎週木曜日 ①14:00 ②14:20 ③14:40

## ● 低線量肺がんCT検診

一般的な肺CTよりも少ない被ばくでCTが受けられます。  
毎週 水曜日・木曜日 ①12:00 ②15:00

## ● 乳がん検診

マンモグラフィによる検診  
(エコーなどのオプションもあります)  
毎週 金曜日 14:30

## ● 婦人科がん検診

子宮頸がん・子宮体がん検診  
(エコーなどのオプションもあります)  
毎週月曜日 10:30～  
毎週火曜日～金曜日 ①13:30 ②14:00 ③14:30

## ● 前立腺がんのPSA検診

採血後2時間以内に泌尿器科医師より結果とその後の指示を受けられます。  
完全予約制/木曜日 11:00

## ● 大腸がん検診

当院では予約日に消化器内科医師より直接検診結果を聞くことができます。  
完全予約制/月曜日 11:00～  
火曜日～金曜日 14:00～

## ● 胃がん内視鏡検診

専門的な知識と技術を備えたスタッフが対応させていただきます。  
完全予約制/毎週金曜日 ①9:00 ②9:20 ③9:50

## ● PET検診

全身を一度に調べることができます。  
平日/月曜日～金曜日 10:30

予約受付センターの受付時間：毎週 月曜日～金曜日 / 電話による予約 13:00～16:00 / 窓口による予約 9:00～16:00

### ● 患者さんの権利

1. 人格が尊重され、良質な医療を平等に受ける権利があります。
2. 十分な説明を受け、自分が受けている医療について知る権利があります。
3. 判断に必要な医学的な情報が提供される権利があります。
4. セカンドオピニオン制度を利用する権利があります。
5. 自らの意思で、医療に同意し、選択し、決定する権利があります。
6. 個人のプライバシーが守られる権利があります。

### ● 患者さんの責務

1. 良質な医療を実現するため、医師等に患者さん自身に関する情報を正確に提供してください。
2. 納得出来る医療を受けるため、良く理解出来なかった説明については、理解出来るまで質問してください。
3. 他の患者さんの医療及び職員の業務に支障を与えないようにご配慮ください。

### ● 患者さんへのお願い

院内の取り決めを守り、病院職員と協同して医療に参加、協力することをお願いします。

### ● 子どもの権利宣言

北海道がんセンターは、小児診療を行う場合に、『子どもの権利条約』を守り、未来ある子どもたちのすこやかな成長発達を支援するため、次の権利があることを宣言します。

1. 適切な環境で医療を受ける権利  
子どもは、安心できる環境のもと、おもしろいのある最良の医療を受ける権利があります。
2. 適切な情報提供を受ける権利  
子どもとその家族は、医療行為を受けるにあたり年齢や理解度に応じた十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
3. 医療に参加する権利  
子どもとその家族は、医療について自由に意見し自ら医療を選択あるいは拒否する権利があります。
4. 医療を選択する権利  
子どもとその家族は、担当医以外の医師の考え（セカンドオピニオン）を求める権利があります。
5. 医療を知る権利  
子どもとその家族は、自己の診療録の開示を求める権利があります。
6. 個人情報保護を受ける権利  
子どもとその家族は、いつでもプライバシーが守られ、個人情報を保護される権利があります。院内の取り決めを守り、病院職員と協同して医療に参加、協力することをお願いします。

独立行政法人 国立病院機構

北海道がんセンター

都道府県がん診療連携拠点病院

〒003-0804

北海道札幌市白石区菊水4条2丁目3-54

代表 TEL (011) 811-9111

FAX (011) 832-0652

ホームページ

<https://hokkaido-cc.hosp.go.jp/>

QRコード→



### ● 相談窓口

がん相談支援センター

直通電話 (011) 811-9118

地域医療連携室

直通電話 (011) 811-9117

直通FAX (011) 811-9110

メールアドレス 100-mb05gas1@mail.hosp.go.jp

## 交通のご案内

